

BPW Newsletter JAPAN

Official Newsletter of National Federation of Business and Professional Women's Clubs of JAPAN



2011.10.10
Vol. 103

【特集】
第 27 回
BPW インターナショナル
コンgress
ヘルシンキ大会

CONTENTS

- 第 27 回 BPW インターナショナル コンgress ヘルシンキ大会報告
- 内閣府男女共同参画推進連携会議共催事業 12 月シポジウムのお知らせ
- 2011 年度ブロック研究会の予定

日本 BPW 連合会ニュースレター
発行人：松原敏美 広報委員会編集

日本 BPW 連合会 事務局
〒151-0053 東京都渋谷区代々木
2-21-11 婦選会館 303
TEL.03-5304-7874
FAX.03-5304-7876

e-mail: office@bpw-japan.jp
ホームページ:
<http://www.bpw-japan.jp>

第 27 回 BPW インターナショナル コンgress ヘルシンキ大会 BPW インターナショナルの中の日本

特定非営利活動法人日本 BPW 連合会理事長 松原敏美

2011 年 6 月 16 日から 21 日まで、フィンランドの首都ヘルシンキで第 27 回 BPW インターナショナルのコンgressが開催されました。私たちには、3 月 11 日に発生した東日本大震災により、国際的に日本の状況が世界の耳目を集めているなか開催されたという意味で、記憶に残るコンgressでした。

日本からの参加者が総勢 26 名と画期的な人数を数えたのは、男女共同参画の成功例フィンランドに学ぶ視察を組み込んだツアーが企画されたことによるものですが、参加の動機はともかくそのチームワークの良さは目を見張るものがありました。「以心伝心」の言葉どおり口には出しませんが、日本女性として、日本の復興を世界に確信させる振る舞いをしようという自負心がありありと感じとれました。それは復興ベストの販売ブースで各国会員と震災の枠をこえて交流を積極的に持とうとする姿勢や、毎夜のように開かれるパーティーで、日本をどうアピールするかに情熱を傾けておられる姿にも、またいろいろな場面で展開するパフォーマンスのために、各々が出来得限りの準備をされて臨まれた姿にも、よく表れていました。皆様の御活躍に心から敬意を表します。

開会式のビデオレターで、UN ウイメンのミシェル・パチェレ事務局長は私たち BPW のメンバーに対し、世界のあらゆる国のすべての女性達の連帯で世界をよい方向に変えていこうと、呼びかけられました。新しい組織のトップからの力強いメッセージは開会式にふさわしいものでしたし、連日持たれた全体会のパネルが世界的に活躍する方々を揃えるなど充実しており、各国の会員にそれらの方との新しいネットワーク構築の可能性を示してくれました。

今回のコンgressの私なりの収穫は、BPW の場合、特に発展途上国から参加されている方の多くは、とびきりの富裕層であり権力の中核におられるのですが、彼女達の関心がすべて欧米に向けられているかというそうではなくて、予想以上に「日本」あるいは「日本人」に友情と敬意をもって連帯することを求めている雰囲気があると発見したことでした。

復興ベストは、お別れのパーティーでフィンランドから出た元会長ツリーキューセラさんに着用されて、壇上で光り輝いていましたし、ヤング BPW の資金集めが目的のくじ販売による収益からその半分の、日本のヤングに支援金として下さるという温かい心配りも受けました。

このような日本をとりまくすべての「思い」に、日本 BPW が活動で今後どう応えるか問われることとなります。同時に、それは、インターナショナルの中で、日本の存在感を示すチャンスでもあります。

このコンgressを機に、日本 BPW 連合会はさらに心をついて頑張っていきたいと思っておりますので、ご協力、よろしくお願い致します。



写真：BPW ホームページより

ヘルシンキ・コングレス プログラム 2011 年 6 月 16 日～21 日

月日	時間	プログラム
6/16		国会見学・市長ご招待のレセプション(松原・平松)
6/17	09:00-17:00	登録開始
	09:00-12:00	WS 会則改正について
	12:00-13:30	地域会合(5地域に分かれて)
	14:00-15:30	大会前評議会(松原・平松)
	15:00-16:00	WS コングレス初参加者のために
		WS 決議案について
	19:00-22:00	開会式+レセプション(全員)
6/18	09:00-10:30	全体会「リーダーシップ:多くの女性がトップに就くとき」
	11:00-13:30	BPW総会#1(松原 平松 余語) ・サイバーカフェ / ・ネットワーク
	13:30-15:00	市内観光
	15:00-16:00	WS 女性にとっての平等
		WS 職場環境を変える新しい視点
		WS コミュニケーション:ブランド化
		WS 変化をもたらす力
	16:30-17:30	WS ジェンダーの課題
		WS 成功者物語
		WS アクセス:女性のイメージ
		WS メンター
	18:00 以降	日本からの参加者夕食会
6/19	09:00-10:30	全体会:「ビジネスへのアクセス:もっと女性をグローバルな供給ネットワークに」
	11:00-13:30	BPW 総会#2(平松 余語 柳下) ・サイバーカフェ / ・ネットワーク
	13:30-15:00	市内観光
	15:00-16:00	WS ビジネスリーダーの力
		WS 才能開発
		WS 供給システムへのアクセス
		WS 変革のためのアドボカシー戦略
	16:30-17:30	WS WEPs:健康一番
		WS 成功に向けて
		WS 創造力と柔軟性を生かして
		WS イコールペイ
	20:00-23:00	個別夕食会 ・アメリカ(松原 櫻井 加藤道) ・韓国・オーストラリア(出村 篠崎 藤田 鶴田 池田 深澤 宮沢 塩崎) ・スイス(河田 田中 加藤佳 竹内) ・スウェーデン・エストニア・ブラジル(余語 河村 柳下) ・イタリア・ベニン・ザンビア
6/20	09:00-10:30	全体会「平等:平等がビジネスの鍵 WEPs」
	11:00-13:30	BPW総会#3(平松 余語 櫻井) ・サイバーカフェ / ・ネットワーク

	13:30-15:00	市内観光
	15:00-16:00	WS 職場の女性力
		WS 世界を動かす10人の女性
		WS 技術の向上への対応
		WS 事業力:変化をもたらす実践
	16:30-17:30	WS WEPs:企業の社会的責任
		WS リーダーシップ事例:平和への女性力
		WS ヤングBPWリーダーズ
		WS パーソナル・エンパワメント
	19:00-	晩餐会(全員)
6/21	09:00-11:00	BPW総会#4(平松 名取 櫻井)
	11:30-12:30	BPW総会#5(松原 平松 柳下)
	13:30-14:30	昼食
	14:30-15:30	閉会式
	15:30-16:00	大会後の評議会(松原 平松)
	20:00-23:00	さよならパーティー

WS: ワークショップの略

BPW 総会: BPWI General Assembly Business Session

ヘルシンキ・コングレス参加者

<代表・代表代理>

松原敏美(和歌山クラブ) 理事長
 余語三枝子(アイリス東海クラブ) 準備委員長 前副理事長
 平松昌子(東京クラブ) 国際委員長
 名取はにわ(東京クラブ) 副理事長
 櫻井啓子(東京クラブ) 組織委員長
 柳下真知子(東京クラブ) 広報委員長
 <一般参加>

出村和子(仙台クラブ) 元連合会会長
 河村真貴子(東京クラブ)
 広田綾子(東京クラブ)
 渡部道子(東京クラブ)
 深沢公子(山梨クラブ) 副理事長
 宮澤由佳(山梨クラブ)
 マリア (山梨クラブ)
 河田英子(大阪クラブ)
 加藤佳津子(大阪クラブ)
 田中多津子(大阪クラブ)
 竹内かおり(大阪クラブ)
 藤井楊子(大阪クラブ)
 米谷友里(大阪クラブ)
 池田説子(神戸クラブ)
 塩崎智子(和歌山クラブ)
 花崎正子(北九州クラブ)
 篠崎正美(福岡クラブ)
 田代麗子(福岡クラブ)
 加藤道子(福岡クラブ)
 藤田ひろみ(福岡クラブ) 財務委員長
 鶴田雅子(長崎クラブ)



フィンランドのフォークダンス。オープニング・セレモニー
(6月17日)

ヘルシンキ・コンGRESの概要と報告

国際委員長 平松昌子

第27回 BPW International 世界大会(コンGRES)は、2011年6月17日～25日の5日間、ヘルシンキの「フィンランディアホール」で開催され、「会則」の大幅改正、「会費」の値上げ、そしてこれから3年間の活動テーマ「女性力がビジネスをリードする—女性の声をビジネスに」などを採択・了承し終了した。

今回のコンGRESは、BPW International が法人としてスイスに登録して初のコンGRESとなるため、その運営に大きな変更があった。つまり、会期中のほとんどの時間を占めていた「ビジネス・セッション」は、「総会(General Assembly)」と名称を変更すると共に時間が大幅に短縮され(最終日を除き毎日2時間半)、それに替わって、ほとんどの時間が全員参加型のプログラムとなり、メキシコ大会以来のテーマ「変化を生み出す力～Power to Make a Difference」についての総決算と、これからの活動にむけての議論に充てられた。

全体会・ワークショップで議論されたこと

全大会やワークショップは、WEPs(女性のエンパワーメント原則)、リーダーシップ、アクセスなどのカテゴリー別に設定されていた。そこでの議論で目立ったのは:

- ・女性が力を発揮するためにクォータ制が必要であるとして実例をあげての提案
- ・女性が企業の中で指導力を発揮し活躍するための体験の報告や紹介
- ・国連を舞台に広がりを見せている「WEPs=女性エンパワメント原則」の紹介と意義など。

発言者は、いずれも世界的・或いは各国でのトップリーダーたちで、さすがに多くの情報と示唆と感動をもたらす内容になっていた。

(※日本からは資生堂の岩田喜美枝副社長への招待が打診されたが、株主総会と重なるため不参加となったのは残念。)

これらの発言を通して、痛感させられたのは、日本における女性の経済活動(Business)への参加の遅れだった。大会2日目18日、最初の全体会で、Irene Natividad (Global Summit CEO, USA)は、「世界はいま女性の企業責任者を捜し始めている。既に51ヶ国の25分野で2000人の女性ディレクターがいる」と強調した上で、各国に於ける重役会での女性の参加状況を数字をあげて指摘した。(EU12.2% 北米10.4% アジア7.3% アフリカ3.3% そして日本は100社でわずか15人しかいない)さらに、女性が経済社会で力を発揮するためにはクォータ制の採用が重要だと指摘したこれからの活動への示唆を得ると同時に、個人的には強烈な印象となった。

(※この女性の役員比率の算出は必ずしも同一の方法ではない。日本でも母集団の取り方で0.98=日経(主要500社)、1.4=東洋経済(全上場企業)と数字が異なる。)

【BPWコンGRESとは】3年に一度、世界のどこかのメンバー国で開催されるBPW世界大会。「会則やBPWのあり方などを話し合う総会」と、「イベント」をあわせた大会をさします。総会は、BPWの議決機関で、各国の会員数により議員席に座る人数が規制されており、日本は500人以下の団体に割り当てられる3名となります。日本では、BPWの運営に関わる会則改正に関する案件と、「同一賃金の働きかけを各国政府に要求する」といった決議案件の2本立てで議案を提出してきましたが今回は提出しませんでした。提出される案件はコンGRESに先立ち、各連合会に送られ、日本においてもクラブで検討を済ませています

総会で議論されたこと

法人化されて初めての「総会」には、会則の大幅な改正案と会費値上げを含む12の決議案が提出され、新しい会則と規程、及び会費値上げを承認すると共に、次期会長にフリーダ・ミクリス(前第2副会長 オーストラリア)を選出した。また、次期大会は韓国のチェジュ島に於いて2014年5月23-27日の日程で開催することが決まった。

「会則改正」について

BPW International は、従来、Constitution(会則)とBy Law(付則)によって運営されてきたが、時代に即した活動を行うという目的で、Constitution(会則)については、会の名称、目的などを8条にまとめ、これまでConstitution及びBy lawに盛り込まれていた各種の規則は、Regulation(規程)として24条項になった。

会則 (CONSTITUTION)

- C1. 名称 (Title)
- C2. 組織の種類 (Type of Organization)
- C3. 目的 (Aims)
- C4. 構成 (Structure)
- C5. アフィリエイト (Affiliates)
- C6. 事業年度 (Fiscal Year)
- C7. 解散 (Dissolution)
- C8. 改正 (Amendments)

規程 (REGULATIONS)

- R1. 役員 (International Board)
- R2. 評議会 (Executive)
- R3. 議決権 (Decision by the International Board and the Executive)
- R4. 管財人 (Trustees)
- R5. 加盟団体 (Affiliates)

- R6. 言語 (Languages)
- R7. 地域 (Regions of BPW)
- R8. 会計 (Financial matters)
- R9. 大会 (Congress)
- R10. 総会 (General Assembly)
- R11. 総会における票決 (Voting at General Assembly)
- R12. 総会間における票決 (Voting between General Assemblies)
- R13. ヤングBPW (Young BPWs)
- R14. データベース (Database)
- R15. 常任委員会 (Standing Committee)
- R16. 作業部会 (Project participants)
- R17. 決議 (Resolution)
- R18. 修正 (Amendment)
- R19. 解散 (Dissolution)
- R20. 名称とロゴ (Name and logo)
- R21. 手続きの手引き (Procedure Manual)
- R22. 関連 (Relationship)
- R23. 会長事務局 (President's Office)
- R24. 原則 (Principle)

会則(Constitution)及び規程 (Regulation) について、最終日に修正後の案文が提出され、賛成 101 反対 9 で採択された(写真右)

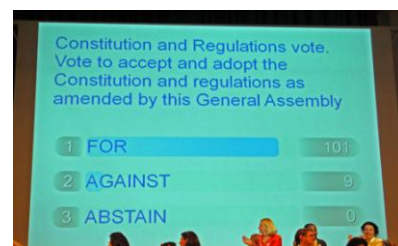
焦点となっていた「値上げ案」について

実施時期を1年繰り下げるというカナダの修正案が出され、最終的に賛成 66.9%で可決された。その結果、2012年に会員一人につき 5ユーロ、以後毎年1ユーロ引き上げが決まる。

※ 他にアジア太平洋地域の別途会費として毎年1ユーロを納入する。

※ 途上国については、国連が認める低所得国について上記の半額とすることで決定した。

これらの新しい会則・規程等については、別途日本語訳を予定している。(一部 14 頁参照)



「決議案」の審議について

決議案 (Resolution) は 12 の案件が提出されたが、R1の「会則等の改正」は別件での審議となり取り下げ、2 案件が否決・不採択となった。

審議の結果

決議案	提案項目	提案要旨	最終結果	備考 (カッコ内の数字は賛成-反対-棄権の票数または比率)	提案者
決議案 1	「会則等の改正」	会則と規程の改定版の履行を正式に承認		別途審議を理由に取り下げ	BPWI 役員会
決議案 2	「性的搾取」	世界中の多くの国で、携帯電話、ソーシャルネットワーク、キングサイト、他のオンラインメディアなどの乱用による若い女性と少女 (及び少年/青年) が、本人同意もなく、意図しなかった文脈で乱用される恐れがあり、それは性的搾取及び虐待となりえる。	可決	(89-6-4)	BPW オーストラリア
決議案 3	「献血」	ミレニアム目標 5 (妊婦死亡率の減少、母体の健康状態の改善) 及び目標 6 (HIV/AIDS やマラリアなどの疾患との戦い)、及びWHO・PAHO の政策を支持するために、安全な血液の重要性について国際社会での認識を高め、全ての市民に対する適切で安全な血液の供給を達成するために、国家的な血液政策の設立を促したい。	可決	(票数不明)	BPW アルゼンチン
決議案 4	「イコール・ペイ・デイ (EPD)」	BPWI とアフィリエイト(連合会とクラブ)によって履行されるべき現実的なアクションプランの提案: BPWI の EPD 作業チーム継続、促進、EPD に関する情報や活動についてウェブでの広報、国連機関と共同でのロビー活動、各国で EPD キャンペーンをスタートさせる。	可決	予算案の成立を以って実施 75.0%-20.2%-4.8 % (P.8 参照)	BPW オランダ
決議案 5	「コミュニケーション戦略」	今日、BPWIに関して、様々な手段で多量なコミュニケーションが発せられている中、明確かつ正確に BPWI のポジティブな一貫したイメージを確かなものにする必要があり、そのためにコミュニケーション及び宣伝物が正確にかつ明確に BPWI のゴールと行動を伝えることをめざす。ブランドの確立: 一貫したロゴ、Web サイト等	可決	88.3% -7.8% -3.9% (P.8 参照)	BPWI 役員会
決議案 6	会費値上げと年間活動経費の調整	BPWI 会費が 2005 年レベルに据え置かれている。役員は専門家として活動し事業を展開する女性として、過去6年間に経費の増加は不可避であり、今後も支出増の見込みである。我々は組織を守り国際社会での地位を維持する必要がある。	可決	修正の上、値上げ案を可決→議論の末、実施の時期を一年繰り下げる(2012 年から)を骨子とするカナダ案が賛成 66.9%で多数となり採択された。	BPWI 役員会

■会長	フリーダ・ミクリリス Freda Miriklis	(オーストラリア)
■前会長	リズ・ベンナム Liz Benham	(USA)
■第1副会長	ヒュージェット・ドーサ Huguette Akplogan Dossa	(ベニン)
■第2副会長	ジル・オロベック Jill Worobec	(カナダ)
■事務局長	Dr. ヤスミン・ダーウィチ Yasmin Darwich	(メキシコ)
■経理	ゲヴァ・ムラノ Geva Murano	(オーストラリア)
■ヤング BPW	アナスタシア・サファリアン Anastasia Safarian	(USA)
■リージョナル・コーディネーター		



写真：BPWI ホームページより

- | | | |
|-------------|---|-----------|
| ・アフリカ地域 | アデニク・アデヤンジュ・オサドラ Adenike Adeyanju-Osadoro | (ナイジェリア) |
| ・アジア・太平洋地域 | スーザン・ジョーンズ Susan Jones | (オーストラリア) |
| ・EU地域 | サビーネ・シュメルツァ Sabine Schmelze | (スイス) |
| ・ラテン・アメリカ地域 | マリアエルビア・サレス・フェレイラ Maria Elvia Salles Ferreira | (ブラジル) |
| ・北米地域 | ベッシー・ヒロニムス Bessie Hironimus | (USA) |

大会最終日に、新会長に選出された、フリーダ・ミルクリス
新会長は就任挨拶の中で今後3年間の統一テーマとし
て次のように述べた。

—*Bringing the Voice of Women to Business*

※Women empowerment について「女性力」という言葉も目にします。

次期 kongress の開催地

第28回 kongress は、2014年5月23-27日の日程で韓国のチェジュでの開催を決定。また、6年後の第29回 kongress は、エジプトが、もう一つの立候補国ブラジルを制して、2017年の kongress はエジプトのカイロで開催することが今回の kongress で採択された。



2017年 kongress 開催に向けてキャンペーンを繰り広げた
エジプト(左上)とブラジル(右上)の代表団。

BPWIヘルシンキ総会： 雑壇に並ぶ役員たちの採点

企業或いは組織の総会では、組織の運営を委託された役員(or 理事)たちは、活動報告を行い委託者たちの審判を仰ぐ。ヘルシンキでの BPWI 総会を行ったことに続いて、二人の副会長、事務局長そして会計、ヤング・・・約20人が報告に立った。詳細は kongress で配布されるワークブックに収録されている。日本では、書き物と違う発言をするとクレームが付くが、外国、少なくとも kongress での発言は提出されプリントになった報告に対し、自分を加えていかにアピールするかが勝負である。人柄や全てがでてくる。つい採点したくなる。

3年前の就任挨拶では、やや自信なさげだったベンハム会長は、ヘルシンキ kongress では3年間の総括報告を「簡単なことを複雑にみせることは誰しもがすることだが、複雑なことを簡単にこなすのは想像力だ」との引用句を用いてリーダーとしてのポリシーをしっかりとアピールしていた。さらに任期中に UN Women の誕生や、グローバル・コンパクトへの署名など国連の新たな歴史に立ち会えたことについて、国連の設立時に大きな役割を果たしたエスタ・ハイマーやそれを引き継いだクレール・ファルチャーらの名前を挙げて BPW80 周年の歴史を改めて印象づけたことに、立場が人を育てるとの感慨を抱いた。

第1副会長のガブリエラ・キャノニカは組織担当。在任

kongress 準備委員長からの報告

kongress 準備委員長 前副理事長 余語三枝子

決議案ワークショップ報告 6月17日 15:00~16:00

開始時間になっても、決議案委員会委員長(パット・ハリス)元 BPWI 会長が現れないので、ニュージーランド連合会の元会長が議長を申し出た。「よろしければ、パットが来るまで、議長をやりましょうか」と手をあげ、会場の同意を得た上で会議を開始した。なかなか堂に入ったものであった。

委員による説明があり、一つずつ丁寧に諮っていか

中より次期会長に最も近いポストにいとされながら、そんなポストへの野心を全くみせず、BPW の組織強化に努めた人だったと思う。組織担当として①1+1(会員一人が一人をリクルート)、②目を開けよう、③顔を上げようとの3つの項目を掲げて組織拡大に努めた。任期中、リージョナルの会合には全て顔をだし、直接会員と意見を交わす中で「あらゆるレベルの女性たちがビジネスへの秘められた可能性を見つけられるよう目を開き、専門性、指導力を前進させるために顔を上げることを目標にすべきだと確信したと述べ、アフリカの発展の凄さを強調した。

第2副会長 フリーダ・ミクリスは国連を担当した。その任期中、国連での女性の役割評価が大きく替わったこと、そして国連グローバル・コンパクトへの署名と WEPS(女性のエンパワーメント原則)の誕生に会長と共に立ち会えたことで、女性が経済的な力をもたなければ女性の地位向上にはならない、Equality Means Business を強く理解し推進した。そのフリーダは、ヘルシンキ大会で会長に選出された。

役員の報告でどうしても挙げておきたいのは会計のソージェイ・アルバートだろう。最も若く極めて優秀な会計とベンハム会長が紹介したが、総会で難問をぶつけられてもいずれも冷静に対応する印象は強烈なものがあつた。彼女の報告を聞きながら気付いたのは、BPWI の予算は3年間で各年で割った数字で表現されること。前のメキシコ大会で値上げ案が否決されたことは、その前の3年間と基本的に総額は同じ。しかし、会長が替われば運用形態もかわるが、予算割れは起こさないよう全力を注いだ。BPWI 予算の80%は会費収入である。とすれば未納会費の回収に全力を挙げる。そのために督促の方法に知恵を絞り、回収率を96%に高めたという。為替の変動もあるが、残高を計上してここまで来た。若い会計で、若い母親でこの仕事をこなすことの大変さがありながら、きめの細かい会費の処理に知恵を絞る状況を聞いて感動してしまった。

れたが、特に「値上げ案とシニアBPW」については、反対意見がでた。議長は会社経営者で、経済不況で自分自身のビジネスでも人員を削減したり、節減に節減を重ねている。BPWIが会費を値上げするのは、流れに逆らっていると強く反対の意向を示された。また、2011年度の予算案を見ていないのでなんとも言えないとの意見も出た。予算案が先だとの意見を総会で発表しようということになった。もし、値上げ案が通れば、自国の連合会の会費も値上げせざるをえなくなるから困ったことである。その後、各国の連合会へ各クラブからいくら出している

かが話題になった(ドイツは63ユーロとのこと)。ドイツの会員が祖母の教えとして「1,000 ユーロしかないとなれば、その範囲で節約して使うだろうが、1,100 ユーロになるかも知れないとなると、1,100 ユーロを使ってしまうものだ」と述べ、もっと今の会費で運営できるよう努力をしてもらいたいなどの意見が出て、否決されることになりそうな雰囲気であった。ところが総会では、思わぬ支持意見がでて、カナダの修正案がわりとあっけなく通ってしまったのである。

シニアBPWの案についてドイツの会員から反対があった。ヤング会員をやっと獲得して育てているのに、シニアBPWの案が通ると、ヤング会員、通常の会員、シニア会員と3つに分かれてしまって、まとまりのないクラブになってしまう可能性がある。総会で反対したいとの意見に対して、オーストラリアの会員が支持すると手をあげ、総会では反対意見を述べることになった。

議長のパット元会長が開始して 30 分後にプンプン憤慨して会場に現れた。評議会の会議内容に対してご不満があったようで決議案の討議そっちのけで評議会の会議内容について述べられ、まるで評議会の報告会のようにってしまった。30 分のうち半分その話であった。

その後、未討議の決議案のうち、「コミュニケーション戦略」と「BPWIのブランド化」の決議案は一緒に検討した方がいいとし、残りの決議案は「あー、これは問題ないね。次もね」ということでパット元会長が議長を引き継いだ後の決議案WSは15分ぐらいで終わってしまった。

パットはパーラメンテリアンが一人しか壇上に上がらないということが評議会で決まったのに憤慨し、明日もう一人登壇させるように緊急動議を出すので、支持を頼むとの発言があり、実際、総会当日本当に彼女は発言し、傍聴席にいたジョン・ビールビーが拍手とともに登壇し、イヴェット・スワンの隣に座った。

総会1(General Assembly 1st Business Session)報告 6月 18 日 11:00~13:30

総会次第にのっとって総会は始まった。 kongress参加者の数が最終的に 60 か国からおよそ 600 名とのことで、会場は熱気に溢れていた。以前の kongressより傍聴席も大勢の会員で埋まっていた。

①会長挨拶

②出席者の確認

③黙祷(チリの地震や日本の東日本大震災など、災害でなくなった人々に対して)

④議事規則の確認

⑤プログラムの承認

⑥パーラメンテリアン(議事運営アドバイザー)、投票計算係、タイムキーパーの承認

ここで、前日の決議案ワークショップで話題になっていた

たアドバイザーの登壇についてパット・ハリソン決議委員会委員長(元BPWI会長)が緊急動議を出し、採用された。イヴェット・スワン氏一人だけが登壇しているが、他のパーラメンテリアンも登壇すべきであると提案した。イヴェット・スワン元BPWI会長が「この提案は採決する問題ではなく、議長が決めることだ」との発言があり、議長であるリズ会長のOKでニュージーランドのジョン・ビールビー氏が登壇した。

⑦ kongress役員および委員会の紹介

⑧推薦委員会の指名

⑨メキシコ kongressの議事手続きの承認

⑩役員の事業報告

会長の報告 エリザベス・バーナム(ニューヨークUSA) 3 年間の彼女の活躍ぶりは報告書に9頁にわたって詳細に書かれているが、精力的で献身的な3年間であったことは報告を終わった後、会場の全員が大拍手でスタンディングオベーションをしたことで象徴されている。「組織を率いるには Power が必要である。素晴らしい活躍をしている本会議のスピーカーはすべて身銭で参加してくれている。クレア・フレッチャーディナー、リーダーシップ育成セミナーの開催、80 年以上活動を続けてきたBPWの組織を一層の拡大に向けて努力した。」レポートの最後に副会長・会長としての6年間を支えてくれた役員、各国の連合会の会長等への感謝と物心両面で支えてくれたご主人に対して心から感謝の気持ちを表明してレポートを終わった。

・Credential 委員会のアン・スェイン委員長より定足数関係の報告。計 119 名。(総議決権保持者数197名)

第1副会長報告 ガブリエラ・カロニカ(スイス) 組織担当副会長として組織の拡大目標を高くした。言語を英語で意思疎通する努力をした。幾多の会議に積極的に参加した。足跡を残すことが出来た。出かけた国のクラブではどこでも温かく迎えてくれた。いろいろなタイプのBPWのメンバーがいて、組織を豊かなものにしている。新しい連合会、アソシエイトクラブの誕生が相次ぎ、また既存の連合会も 2~3 倍会員数を増やしている。特にアフリカの躍進が目立つ。アジアでは台湾が 200 人から 405 人と倍増である。USAも久しぶりに連合会に復活した。6月18日現在の総会員数は25,962 人である。以上の報告からも、実に実行力のある副会長であったと感じた。

第2副会長報告 フリーダ・ミクリス(オーストラリア) 国連担当の副会長として、大いに活躍した。リズ会長がニューヨーク在住というのもラッキーなことであった。会長とのコミュニケーションもよく取れており、リズ会長が彼女を信頼していることは言葉の端々に表れていた。UN代表の経験を通して彼女は一層大きく羽ばたくことになった。ベンナム会長は早くから彼女を後継者として育てていたように思う。今回フリーダの報告の内容も立派で充

実しており、発表の態度をみても、会長の風格であった。彼女は 2012～2014 の BPWI 会長として信任された。活躍を期待したい。

会計報告 スジェイ・アルバート(ニューヨーク USA) 第 26 回メキシココンGRESSで決まった会計規則に則って運営しているが、乳飲み子を抱え、365 日 24 時間仕事をしているような感じで大変であった。2008～11 年の予算(収入:299,600 ユーロ 支出:296,290 ユーロ、余剰金:3,310)に対して 6 月 19 日現在の状況は、収入:253,166、支出:63,947、残高:189,219 である。フロアーから「予算案が出ないと値上げなどの会計についての意見も言えない」、「ユーロ立てに対して危惧を感じている」との意見がでた。

前会長報告とメキシココンGRESS会計報告 チョンチャノック・ヴィラヴァン(タイ)

事務局長および会則改正委員会報告 ジーン・マレー(オーストラリア) 役員の事業報告はラテンアメリカのリージョナル・コーディネーター(ヤスミン・ダルウィシュ)のリードで、スタンディングオーベイションにより承認。

総会 2(General Assembly 2nd Business Session)報告

6 月 19 日 11:00～13:30

UN 報告 UN New York: エヴァ・リッチャーと UN Geneva: カリン・コーシュの二人から報告があった。報告を聞いたり、報告書を読むにつけ、BPWIとUNとの関係がいかに深いものであるか、またBPWIがNGOとして大いに期待されていることを実感した。ベンナム会長はグローバルコンパクトや WEPsに力を注ぎ、それを受けて BPW の国連代表は世界各地の諸組織の目標を進展させるよう努力した。

決議案委員会報告 パットハリスン(元 I 会長)

アナグレット・ヘイステッドが指名されたが辞退したため、私が指名された。13 の決議案を受け取ったが、3 つは棄却した。3 つのオリジナル案を修正して再提出され、12 の決議案を作成した。

BPWI 政策について 新しい決議案が採択されていないので、現時点では、メキシコで可決された決議案 23(予算について)や決議案 26(財務について、予算の配分について)は依然として有効であるとの発言がツェリキ、ノック、スワンの元 BPWI 会長からあった。

出席者の確認

リージョナル・コーディネーター及びヤング BPW の報告

・**アフリカ:** ヒューゲット・ドーサ(ベニン) アフリカの台頭を痛感させる報告であった。2008 年には 3 つの連合会と 9 つのクラブだったが、2011 年には 3 フェデレーションと 15 クラブ、4 アソシエイトと増え、会員も 450 人から 960 人へと 2 倍以上の会員増加となった。ドーサ氏の力溢れる報告に会場はスタンディング・オーベイションがま

きおこった。彼女は第 1 副会長に最終日に選ばれたことを付け加えたい。

・**アジア太平洋:** ヤン・ハイ・パク(韓国) 主な事業:リージョナル ミーティングの開催(2010 年 10 月 15～18 日 於シンガポール)、アジア太平洋会長会議、アジア太平洋地域の会費に上乗せを決定、2011～14 年のリージョナル・コーディネーターの選出について、日本への義捐金についての報告のときはフロアーから拍手が起こった。

・**ヨーロッパ:** アメリー・レクレルク(フランス) ヨーロッパ地区の協力に感謝、特にオーストリア、スウェーデンに対して。大きな仕事はなされなかったことが推察できた。

・**ラテンアメリカ:** ヤスミン・ダーウィチ(メキシコ) 非常に積極的な活動を展開している様子が伝わった。リマ、ペルーに新アソシエイトクラブ誕生。アルゼンチン、メキシコにも新クラブが誕生。各地区の連合会の総会に出席したり、BPWI 主催のプログラムに参加するなど熱心な活動を続けた。ベンナム会長はじめ役員の報告の後、彼女が席を立ち、スタンディング・オーベイションをリードしていた。彼女の報告もスタンディング・オーベイションで承認された。

・**北米:** ジル・オロベック(カナダ) 報告をする際も落ち着いた雰囲気、誇張せず洗練された報告であった。特に嬉しい報告の一つは EPW-USA が連合会になったことである。ベンナム会長の努力の賜物であろう。過去のコンGRESSにおいても、決議案に修正案が提出されるとカナダの修正案が通ることが多いということに気がついた。今回も会費の値上げの決議案はカナダのオロベック氏が提案した修正案が可決された。彼女は今回第 2 副会長に選出された。

・**ヤング BPW 代表:** ナディア・ムナワール ヤング BPWI の挑戦(・組織の拡大・コミュニケーションの充実・ガイドラインの理解と確立・ヤングのメンバーを励まし、素晴らしいメンターの確立)、及びヤング BPWI コンGRESS(2010 年 9 月 23～25 日 於ラスベガス)報告。

定足数の確認 出席者 138 名

議事

①決議案5 コミュニケーション戦略

プレジデントオフィスから会員や外部の支持者へのコミュニケーションは電磁的コミュニケーションにより新しい機会を十分活用するが、あらゆるコミュニケーションを駆使する継続的なイメージを維持することも保証する。ロゴと名称を継続して使用することによりブランド力を高めること。各国のロゴと BPWI のロゴとの併用でよい。**賛成 88.4% 反対 7.8% 棄権 3.9%で可決。**

②決議案7 友の会の拡大

BPWI の目的の達成のため応援したい、記念事業などに参加したいと思っている非会員の女性のや男性、会

員の夫などを友の会の会員に受け入れる。友の会の会員である元BPWIの会長のツリーキ・ユーセラ氏、リベラ・リッチ氏は反対、シルビア・ペリー氏は賛成、チャンチョノック・ヴィヴァラン氏はFellowとFriendの違いを会費の観点から発言した。賛成 50% 反対 46.8% 棄権 3.2% でかろうじて通った。

③決議案4 イコールペイデイ ドイツの会長から一部修正文が提示された。「イコールペイデイを推進するために、各国で年間行事を展開し、決議案の履行状況を報告する」という文言を追加した。**賛成 75.0% 反対 20.2% 棄権 4.8%で一部修正の上可決された。**予算案可決まで実施は延期となった。

会則及び規程前文、会則改正案及び決議案の翻訳

コンgress準備委員の皆様(松原敏美、名取はにわ、高嶋洋子、佐藤道子、平松昌子、柳下真知子、藤田ひろみ、大谷美紀子、塩崎智子、遊佐美由紀、宮澤由佳、丹下容子、河田英子、鶴田雅子、余語三枝子)及び櫻井啓子、二ノ宮寛子両氏の多大なご協力のお蔭で、準備委員会の仕事を遂行することが出来ました。お仕事を終わられた後、深夜遅くまで和訳のためにお時間を割いていただきました。高邁なボランティア精神と責任感到に感服いたしました。

全面的に改正される会則および規程の前文とさらに会則改正案および決議案の第3稿を全訳し、役員会、理事会に諮り、各クラブの会員の方々で検討していただく資料を完成することができましたことは、日本BPW連合会としても大きな財産になったのではないかと自負しています。私も役員としての最後の仕事として、私の担当

部分の和訳や皆様に訳していただいた日本語訳と英文との突合せに力が入っておりまして。以上1年半に及ぶ準備段階を終え、コンgress当日を迎えました。第3稿の最終版が届いても、その後修正版が届くなどBPWIの役員会も大変な準備をされていたことと拝察し、規程等を見直し、新規のものを作り出すためには並々ならぬエネルギーが必要であることを実感した。

主な準備委員会の流れ

2010年1月役員会でコンgress準備委員会発足。3月理事会で準備委員選出の依頼。10月コンgress準備委員MLを開設し、BPWIからの改正案などの情報をMLを通して配信。BPWIからの改正案第1・2(英文)を役員で対応。10月BPWI役員への立候補推薦、決議案の提出が求められる。2011年2月中旬～4月中旬: 2011年2月会則改正の最終案が発信され、3月に、決議案・会則改正案日本語訳を準備委員に割振り、日本語版作成に入る。コンgressの登録方法、登録料、プログラム、研修旅行等について情報を随時配信。また3月初めには、フィンランド教育・福祉視察ツアー募集チラシ送信(藤田、鶴田、塩崎)

4月中旬～5月中旬: 日本語版完成し(会則改正分38頁、決議案分18頁)、コンgressMLに送信。日本語版を役員会で検討。5月には、決議案・会則改正案の検討を全国の理事へ依頼。理事会で各クラブで検討依頼。BPWIからの決議案・会則改正案修版(英文)の検討。各クラブからの決議案・会則改正案の賛否回答結果のまとめコンgressMLに送信。

5月中旬～6月15日: コンgress諸準備事項、及び日程プログラム(平松国際委員長)を配信。国旗、伝統工芸品、赤いハンドバッグ・財布等の準備。物販、展示等の準備(柳下広報委員長、塩崎、鶴田、藤田、河田)。ヘルシンキ・コンgress参加者手引き最終版の配信(平松国際委員長)

ヘルシンキ コンgressに参加して

副理事長 名取 はにわ

フィンランドは国際的に女性の学歴が高く、10年前の2001年、学士、修士に占める女性比率は、各63%、55%であった。

今回初めて、コンgressに出席し、IDカードに初心者マークを付けてもらい、全体パネルや、イコール・ペイ・デイWS等に参加し、総会で新役員選出の投票に参加した。

コンgressを通して、BPWIが、国連経済社会理事会の協議資格を有するNGO(単に経済社会理事会関係会議に出席できるだけでなく、発言、提案権を有する地位)であることを、とても誇りに思っていることがよくわかった。

以前、男女共同参画行政に携わっていたころ、1995

年北京女性会議やCSWに出張し、この分野はNGOが大変強力で、国連や、各国政府とNGOとの連携が重視されていることを、目の当たりにした。

BPWIとパラレルに、日本BPWの松原理事長もまた内閣府の男女共同参画連携会議のメンバーである。

先進諸国はもとより多くの発展途上国にも、女性の参画について日本は遅れているが、特に日本のビジネス界におけるCEOの少なさは、何人かのパネリストが示す資料から指摘された。それ故、女性と経済の分野は、まだまだやることが沢山あるように感じた。

毎朝9時から始まる全体パネルは、パネリストの質が高く、とても面白かった。

女性の参画を推進するため、各国でポジティブ・アクションが実施されてきたが、国際的には、クォータ制(強制割当制)に軸足が移っていると認識した。日本は、クォータ制について、ようやく検討段階である。

また、経済界で活躍している女性パネリストたちの格好よかったこと。日本の若い女性たちにも是非聞いてほし

いと思った。

午後は複数のWSが並行して開催されるので、当たり外れがあったように思う。最後の方で参加したWSでは、出席予定パネリストが買物に行ってしまう、ファシリテーターもいうことだけ言うとさっさと退席し、何だか気が抜けてしまった。

その一方で、総会は、時間を押して議論を続け、懸案の会費値上げを含む規則改正が成立するなど、BPWIは成果を上げた。

総会開催中、Iの約 29 万ユーロの予算案が可決された。これで国連並みに、地域会議を開催し、数か国語の同時通訳付き会議をするのであれば、大変だろうと思った。

コンGRESは、多様なプログラムであり、参加者それぞれが、楽しみを見つけることができると思う。

3年後は韓国済州島、6年後はエジプトカイロで開催される。済州島は近いので、多くの仲間と参加したい。



26名の日本BPW連合会代表団。19時はまだ明るい。(6月18日)。

世界で著名な女性リーダー達の直接のメッセージに触れる

組織委員長 櫻井啓子

BPWという組織に関わり1年数カ月の私は、正直まだまだこの組織について、十分に理解しないままにヘルシンキ国際大会に参加させていただきました。ヘルシンキという素晴らしい風土、国際大会の顔ぶれとプログラム、ともかく刺激と感動の旅でした。

BPWIは世界で活躍する女性達の国際組織

BPW国際大会は、世界規模の女性指導者達との出会いと学びを可能とする稀有なすぐれたイベントであり、同じ志を持つ異なる文化の国からやってきた外国の女性たちから、各国の女性の地位と役割についての歴史と現状を直接の言葉を通して学ぶ事が出来ます。

63カ国から集まった650人の素晴らしい女性たちが一堂に会しての、内容の凝縮した5日間であり、65人のスピーカー*は、政府、企業の重要決定の役割を持つ社会的地位の高い有名な人々であると同時に、BPWやその他の社会活動に関しても優れたリーダーシップを発揮している世界の女性指導者達である事に驚きます。

*BPWIヘルシンキコンGRESのWEBサイトの中の、スピーカー紹介の欄を見ると、一人ひとりの実際のキャリアの歴史と現在までの活躍のプロフィールが分かり、今後の各界でリーダーを目指す日本女性たちにとって、どのようなキャリアを積むことが重要かの参考になる。

5日間の中3日間は、午前中、すべての人が参加できる全体パネルディスカッションがあり、ビジネス界や政府、アカデミックな分野で活躍する女性の指導者からの貴重な経験の声を聞く事ができ、同じく中3日間の午後は、毎日8つの優れたワークショップがあり、其の中から2つを選び参加できます。3日間で、全部で24種類のワークショップが企画されていました。

全体パネルディスカッション「ボードメンバーとして活躍する女性達の声」18日 9:00～10:00

18日午前中の全体パネルディスカッション大変に興味深い内容。ファシリテーターのNatividad氏は、女性グローバルサミットの理事長であり、自らの調査会社を経営し、PBSやCNNでレギュラーコメンテーターとして、メディアでも活躍するアジア出身の女性。パネルの素晴らしさは、知識と知性に溢れた彼女のファシリテーターとしての明快な運び方にありました。最初にNatividad氏から世界各国の女性の役員率の発表。日本は世界の最低レベル1.4%、世界最高レベルはノルウェイ40.3%、ヨーロッパ全体は、ノルウェイが良いきっかけを作ること、めざましく改善されている。北欧の国々は女性の役員が多く、企業において大変に重要な地位を占めている。3人のパネリストはNokiaの前CEOのSari Baldauf氏をはじめ、有名な世界の活躍女性。彼女たちから、ご自分達の経験を通して、女性の役員として優れた役割を果たしている為の、メッセージが素晴らしい！

「女性が指導者として役員の立場に立つには、must be qualified, must be visible…質の高い目立つ存在であるべき」「個人的なエネルギーが重要で、貴女自身の道を歩む事」「革新の為に牽引者になるべき」「フェミニンであり続けること、他人と異なった存在であり続けること」そして「役員でいるのは名誉でなく仕事であること」等、ダイヤモンドのような言葉で溢れた感動的なパネルでした。

「コミュニケーション・アクションとしてのブランディング」ワークショップ 18日 15:00～16:00

フィンランドでマーケティングの教鞭を取る女性から、Nokiaやその他の企業に関連して、ブランディングとは？の基本的な説明がありました。また、彼女の生徒で数日前に卒業したという若い男性からもブランディングについてのプレゼンもありました。私自身は、マーケティングの専門である為にどうしても辛口になってしまいますが、ブ

ランディングやマーケティングは、本当に業種によって全く異なる手法や考え方を取るべきで、こうした基本論をBPW の様な非営利の組織のブランディングにあてはめる事には、おおいに無理があり、実践ではほとんど参考になることのない基本理論であると思ってしまいました。ブランディングは、基本的な戦略である為に、表面上のロゴやキャッチフレーズ等で語ることはできない事を、改めて感じたワークショップでした。

「女性の成功者達」ワークショップ 18 日 16:30～17:30

18 日 16 時半からのワークショップの一つは「女性の成功者達」と題して、パネリストはフィンランド企業のトップマネージメントの代表ともいえる 3 人の女性 CEO 達。「ここに至る道と、人生と仕事上で、重要と思うこと」をインタビュー形式で詳しく答えた興味深い内容でした。

百貨店のチェーンストアの CEO であるマリナは、ともかく学生の時に語学6カ国語と、経済を徹底的に学び、18歳で家を購入しバイヤーからスタートして、37歳で、CEO にまでなりました。

父親の経営する会社を継いだヨアンナは、12歳の時から父の会社で有給の仕事を手伝い、プリリタイアの制度で1年半ニューヨークで学生としてファイナンスを学び、やがて後継者になりました。

3 人の共通したメッセージは「リーダーシップにとって強い志と正直さが大事である」

「仕事人生で、驚く事や、チャレンジはあっても特別なクライシスポイントは特になかったと思う」

トップを勝ち取る、トップに到達するという CEO の戦闘的な雰囲気ではなく、知性と勇気とチャレンジする精神にあふれた魅力的な母親でもある 3 人の女性 CEO、こうした女性リーダー達が日本でも多く誕生して、経済界に影響のある存在となる日が待ち遠しい・・・。

女性にグローバルなビジネス・チャンス

広報委員長 柳下真知子

「コンGRES初参加者」ワークショップ 17 日 15:00～16:00

6 月 18 日午後は「コンGRES初参加者」のためのワークショップに出る。セッションのスピーカーは BPW インターナショナルの会長を 1989 年から 1993 年の 2 期務めたイヴェット・スワン氏。評議会が長引いているということで会場に姿は無かった。「もうじき現れると思うが・・・」と何度かアナウンスがあった後、最初の列から自己紹介をお願いしますということになった。部屋には 100 人はいたろうか。お蔭で、集まった参加者が何処の国からやってきているのか、何をやっているのかが分かった。ジャマイカ等カリブ海諸国とアフリカ諸国、とくにナイジェリアからの出

席者が多いようだった。皆概して明るく元気で会場は盛り上がった。途上国からの医者やビジネスウーマンも多く、国ではかなりのエリート女性たちだろうと推察された。日本からの出席者 3 人にとっては、期せずして、震災に対して各国から頂いたお見舞いにお礼を一言述べる機会となった。

最後の一人が自己紹介を終える頃、スワン氏が登場した。BPW インターナショナルの史上初の白人以外で会長になったスワン氏。ジャマイカ生まれだがバーミューダ国籍で職業は検眼士だそう。バーミューダでは女性と少女の地位向上のために働き、国際的にはメキシコで看護師のための学校づくりに奔走する等の国際的活動などもしている、なかなか素敵な女性。バーミューダでは閣僚として迎えられ、女性担当大臣など複数の職を務めている。会場からは、数ある女性団体のうち何が彼女を BPW を選んだのか、彼女が BPW でずっとやってきたそのモチベーションは何だったのか等の質問が続いた。スワン氏は、dedication、dedication と、目指すものに向かって専心する態度、献身の心の大事さを強調していた。ラテンアメリカ地域のコーディネイターとして、乳児死亡や妊産婦死亡の軽減など様々な健康問題に取り組んだ。子供を 4 人かかえ、他の BPW 役員同様、家庭との両立は大変であったこと、一つひとつの小さな変化を力に頑張ってきたと語っていた。集まった多くの若いメンバーにとって、自らの意志をもって国際的な団体でリーダーシップを発揮した彼女は素晴らしいロール・モデルであったに違いない。

全体パネルディスカッション「賢い経済学：もっと女性にグローバルな供給システムへのアクセスを」 19 日 9:00～13:30

19 日の全体会は、ビジネスへのアクセスがテーマ。スピーカーには、BPWI との連携協定を結んだ ITC(International Trade Centre)の CEO、ITC で途上国・経済新興国の女性のヴェンダー(販売業者)にトレードの機会へのアクセス、製品やサービスの向上を支援するプロジェクトの部長と課長が参加。ITC は政策決定者や大企業や研究機関とも連携している。ビジネスで活躍する国際的な女性グループとして、BPW が目指しているところが良く分かるセッションで興味深かった。ビジネスにもたらす女性の能力を確信し、それらを引き出すこと、彼女たちに実際の市場での機会の拡大を支援してゆくことが出来るのも、また女性たちだということを感じた。



「起業につながるイノベーション: 想像力と柔軟性が引き出す新しい機会」ワークショップ 19 日 16:30～17:30

午後、「アクセス」関連のワークショップに出たが大変盛況だった。販売業者が起業するにあたって、市場需要とのマッチングのサービスへの具体的な質問が多い。女性が市場に入り込むことで、新しい職を生み出し、地域活性化や経済に役立つという話は日本でも最近注目されているが、「イノベーションとは、男性の(従来の)やり方があればこそ、女性の新しい視点やアイデアがイノベーションとしてインパクトをもつ」との発言が面白かった。これらのセッションに参加した後、BPW ジャパンが震災復興支援の為にベストを販売したブースに戻ってみると、隣でスカーフを売っていたインド女性フェアラが、ワークショップのパネリストだった SPINNA (織物の販売を手掛ける業者に、そのマーケティングや市場戦略を提供する非営利の若い団体)の女性と契約を進めている現場に遭遇した。フェアラは「BPW は上客」と、これまでに BPW 関連の会議で販売してきたようで、売るのも上手く、コンgress開催中にもリーピーターが出来、私も彼女の客の顔を覚えたほどだ。後からきけば、契約に際しては SPINNA に支払うものはないが、一定期間後は何がしかのものを払う仕組みになっているようだ。一日の最後に、その日参加したいくつかのセッションの一例が具体化される様子を間近に見ることが出来、その日の参加が一段と有意義なものとなった。

ヘルシンキ・コンgressでの BPW ジャパンの広報活動

各国から戴いた震災へのお見舞いに応える場を持つという意味合いから、またBPWジャパンの広報のために是非コンgressで展示・物販ブースを持とうと決定したものの、場所の確保が出来たのは10日前。英文展示物を幾つか用意し、それが遠隔のクラブで何枚もの素晴らしいパネルになってヘルシンキへ。震災お見舞いへのお礼のメッセージや原発に関するデータのチラシやカードもメンバーが用意。これもメンバーがデザインした震災支援ロゴ入りのベストは、参加者が手分けしてヘルシンキに持ち込んだ。この機会にと急遽つくった英語のパンフレットも。申込みが遅く心配だったブースも、行ってみると真ん中に位置する良い場所だった。多くのブースは民芸品や衣類を売るヴェンダー(販売業者)によるものだったが、フィンランド、台湾、イタリア、スイス、韓国などのBPWもブースを設けていた。韓国は2014年のコンgress開催国。済州島の公務員も送られてきていた。会場でのベストの売り上げは思った以上に良い滑り出しだった。ツアー参加者も、連日ツアーから帰ってきてから、休む間もなくブースに立った。売る物も日本からの小物で狭いブースはあふれ、折り紙教室も開設。賑やかなアフリカ勢相手に、一本締めで何枚ものベストを売りさばいたと後から聞いた。黄色い支援ベストは会場でも目立ち、BPWの広報



からのインタビューもやってきた。参加者皆さんのお蔭で、ブースは立派に BPW Japan の広報の場となった。

ツアーを企画した経緯(コンgress参加者報告書から一部抜粋)

財務委員長 藤田ひろみ

今回、初めてコンgressに参加させていただきました。今まで3年に一度のコンgressは私にとっては別世界のこと、あくまでBPW-Jの「活動の一つ」という位置づけでした。けれどもBPW-Jの活動を担うなかで、コンgressに参加しないですむはずはなく、また一般的社会活動においても国際的感覚や活動が無視できない昨今において、自分をなんとかしてコンgressに行かせることが必要でした。

また、私がそうであったように、BPW-Jのメンバーの中には、所属クラブの活動もしくはBPW-Jの活動にとどまりBPW-Iの活動については特に興味がないという会員も多いのではないかと、その会員の視野を一気に広めるにはコンgressにいかせるのがなにより、そして、コンgressに関心はあるものの、私のように行ってみる勇気がない人の背中を後押しする機会になれば、と今回の「コンgress+ヘルシンキツアー」を企画いたしました。

会員の中には相当の「大義名分」がなければ職場を離れられない方も多いと思い、職場の方々が今回の企画を見て「これなら会社を休んでも、それ以上のリターンがある」と納得させるような企画、と苦心いたしました。(中略)

当初は参加申込みを全国で15人、いや10人、いやいや5人集まればよし、と考えておりましたが、ふたを開けてみるとなんと18名の参加が実現しました。(後略)



写真上 高齢者施設訪問(6月21日)

ヘルシンキ kongress 研修旅行に参加して

副理事長 山梨クラブ会長 深沢公子

BPWI kongressはスイスのルツェルンに続いて 2 度目の参加、前はすべて個人で自力で準備し一人での参加でしたが、今回は山梨大会に引き続きの kongress だったため、ツアーを組んでいただいて本当に楽でした。その上教育関係・福祉関係の視察も組み込んでいただいたことは大変ラッキーでした。

かねてから仕事の分野では北欧の先進的な福祉を学びたいと思っていましたので、今回は kongress より主たる目的が視察でした。

教育現場はヘルシンキの隣のエスポー市の私立の保育園を見せていただいたが、住宅街の建物(アパートかマンション)の 1 階部分を使って 3 歳児から 6 歳児までの 80 名に対してゆったりとした保育がなされていた。特にここではフィンランド語でなく英語を主体とした保育で、遊びの中から学習していくという基本理念とか、給食も朝・昼・間食があり、部屋の中にキッチンもあって普通の家に



いる雰囲気、スタッフ 10 名も自国ばかりでなくいろいろな国の人が働いていた。また、子どもたち

も半分は外国の子で直接インターネットでの申し込み制、中には 3 年くらい待っている子もいるそうである。費用は全額自己負担で上限が月 230 ユーロ、保育園の運営は年収 80 万ユーロでまかなわれているとか、6月から夏休みに入るが 9 月までの間開いているクラスもあるとか、園長先生の話の中では親は仕事を主とし、園では生活指導を主として子どもを尊重し、話をよく聞いてあげることを基本にしているという姿勢がとても印象的でした。

次に高齢者福祉施設としてクスターンカルタノという老人ホーム(ヘルシンキで 2 番目に大きい)を訪問した。ここも森の中の静かなたたずまいで 8 棟の建物の中に 1 人部屋が 7 割、2 人部屋が 3 割と普通のマンションのようなのが林立している。

ちょうどヨハネスパーティーが実施されているというので私達もホールにお邪魔した。あちこちの家から歩いてくる人、車いすで来る人、ここに住んでいる高齢者は 500 名くらいいるとか、全員が集まるようではないようだが、ホールではもう歌やダンスが始まっていた。誰がスタッフなのか、ボランティアなのか、家族なのかわからなかったが、

スタッフも特別なユニホームはないらしく家にいる雰囲気かもしれない。広い敷地内をぐりと囲んだ建物の間の道を私達も自由に散策することができた。

日本ではとかく町から離れた所に広い建物を作り、外観からも老人ホームと一目でわかるような施設が多いが、フィンランドでは人口密度も少なく(国土は日本と同じくらいで人口は 530 万人)、自然を大切に、日常と自然が融合しているようなゆったりした国民性をつくづく感じた視察でした。

さて、kongressの中でも唯一各国のメンバーたちと触れることができたのは、日曜の夜に開かれた各国主催の夕食会でした。私はオーストラリアと韓国主催の夕食会に参加し、同じテーブルのシンガポールのメンバーたちと交流ができ、プレゼントや名刺を交換し、食事をしながら話げできた。オーストラリアも韓国も歌や踊りを

用意してきていたが、日本からも福岡クラブのメンバーが横断幕を用意してきてくださり、東日本大震災への支援に対して感謝し、「スキヤキソング」を合唱したことは、BPWJのメンバーの一人として参加できてよかったと感じた。

5 日間の kongress の期間中代表として、また代表代理として BPWJ を背負っていただいた方々のご苦勞に対して感謝し、ツアー参加者としてかいま見た kongress の様子を、また空気を山梨のメンバーにも報告して行きたいと思う。



開設 2 日目、すっかり賑やかになった BPW ジャパン・ブース



さよならパーティーにベストを着て現れたソーリキ元会長と平松国際委員長

BPW インターナショナルの新しいリーダー
フリーダ・ミルクリス氏

ご健闘を！

2011 年ブロック研究会の予定**関東・山梨ブロック研究会**

(担当: 東京クラブ)

「未来に向かって、社会のために、
自分の指導力を生かす」

・2011 年 10 月 15 日(土)

・13:00-16:30

・婦選会館2階(渋谷区代々木)

近畿ブロック研究会

(担当: 大阪クラブ)

「東日本大震災直撃の宮城より『被災
地の現状を語る』今私達女性
はいかに行動するべきか」

・2011 年 10 月 22 日(土)

・13:30-16:00(受付 13:00)

・帝国ホテル大阪4階 獅子の間

・参加費 2000 円(定員 60 名)

西日本ブロック研究会

(担当: 長崎クラブ)

「変革への挑戦～女性のリーダー
シップ・アドボカシー・行動」

・2001 年 11 月 6 日(日)

・12:00-15:50

・長崎市立図書館多目的ホール

北海道・東北ブロック研究会

(担当: 苫小牧クラブ)

「変革への挑戦～女性」たちの
指導力・発言力・行動力」

・2001 年 11 月 19 日(土)

・13:00-17:00

・グランドホテルニュー王子 2 階
白樺の間**各クラブで審議していただいた****「規程」(regulation)の主な改正部分の審議結果速報**

改正案	条項	審議結果
会長候補に必要な経験	R2.2	会長候補者はBPWI役員あるいは連合会の会長を務めたことがあるものでなければならない(改正案B)
資産売却のための管財	R4.3	管財人は監査管理チーム及び役員会の推奨に従って資産の売却をすることが出来る(改正案一)
総会への出席者は各アフィリエイト連合会の投票代表者、各アフィリエイトクラブ代表者、役員会メンバー及び元会長	R10.1	各アフィリエイトクラブの投票権を有する代表者は1人とする。ただし、1つの国に最大3人までとする(改正案)。
総会に出席するアフィリエイト連合会の投票権	R11.2	アフィリエイト連合会の投票権を有する代表者数は ・会員 500 人以下 代表 3 人 ・会員 501～1,000 人 代表 4 人 ・会員 1,001～2,000 人 代表 5 人 ・会員 2,001～3,000 人 代表 6 人 以後は会員数 1～3,000 人毎に代表 1 人を追加するが(現行)、代表は 最大 15 人まで とする。 各連合会は投票権を有する代表者と同数の代理人が認められる(現行)。
総会及び評議会の定足数	R3.5	総会における定足数は投票代表者の 3 分の 1。評議会における定足数は、役員メンバーの 4 分の 1(現行)。
期日前投票と代理投票	R11.6	—
委員会組織、委員会の名称変更の提案	R15	13 常任委員会、11 タースク・フォース、2 アドホック委員会 ⇒ 12 常任委員会(農業、アート・文化、ビジネス・トレード・テクノロジー、開発・訓練・雇用、環境、健康、法律、メンバーシップ、事業、広報、ヤング BPW、国連-女性の地位)を設置。国連、メンバーシップ、及びヤング BPW を除き、各委員長は kongress で選出される。各委員会は委員長の他 4～5 名のメンバーからなる。

出典: BPW INTERNATIONAL, CONSTITUTION AND REGULATIONS as adopted at the 27th CONGRESS, HELSINKI, June 2011. (仮訳)**編集後記**

6月、少し肌寒い風がそよぐ、白夜のヘルシンキでの kongress でした。kongress での決定事項については、おいおい BPWI の Web サイトに出揃うかと思いますが、このニュースレターに書かれた臨場感ある報告、感想は他ではなかなか読めない「第27回BPWI kongress 報告」となったと思います。kongress に行かれなかった方にも、BPWI kongress が何をするところか、少しでも知っていただければ幸いです。忙しい中、原稿を寄せて下さった皆さま、どうもありがとうございました。(やなぎした)

**お知らせ**

**男女共同参画推進連携会議共催事業
シンポジウム「香川発！女性と経済活動」
～ネットワークづくりが
女性の経済活動を支援する～**

日時： 2011年12月17日(土)**午後1時～4時****会場： かがわ国際会議場 (高松市)**

日本BPW連合会は、2010年9月、APEC女性リーダーズ・ネットワーク(WLN)会合で、パネル・ディスカッション「女性たちによる経済活動 創造への挑戦」を担当、11月には仙台市で「女性と経済～地域を変える女性起業家たち～」と題して、食を中心とした農村女性の起業活動や地域活性化についてのシンポジウムを開催し、いずれも好評をいただきました。

今年は、香川から、女性たちによる経済活動を支援します。